



# セルフ・プロデュース 2006

9月19日  
Sudden Fiction Project

高階 經啓  
hirotakashina

ついに来たか、ブックボタン。mixi名物ブックボタン。去年の夏くらいから来るかな来るかなって思ってたんだよな。いやあ来たねえ。来ましたねえ。やっぱこれ、知的イメージアップっての？ 欠かせないよな。よしやるぞ。知的イメージアップ。

ええと、最初は何だ？「■最近読んだ本5冊」。最近ってどのくらいまでかな。最近か。中学ぐらいまでは結構本を読んでただけどな。『ズッコケ三人組』とかさ。でもそういうの、あんま知的ポイント高くないよな。どうなのがいいかな。やっぱ古典かな。古典、つったら『源氏物語』か。よし。『源氏物語』を書いておこう。あとあれだ。『東京タワー』とかありだよな。割と新しめもおさえているんだなって感じで。

あとは何だろう。雑誌とかはなしか。「SPA!」とか読んでただけどな。あ、そうだ。あれだ。美術とか写真とかいいよね。ポイント高いよね。何かあるかな。ポイント高いんだけどな。知らないもんな。前に北田先輩のうち遊びに行ったとき、なんかかっこいい写真集とか女子に大受けだったもんな。あれイメージいいよな。でも思いつかねー。やべ。まだ2冊じゃん。これやべえよ。埋まんねえよ5冊なんて。2冊ダメだよな。ポイント低いよな。

何だろう？ 写真集写真集。そうだ。コミュニティ検索で「写真集」って入れてみよ。うわ。777件。まじかよ。っつーかKAT-TUNの写真集ばっかじゃん。何だよこれ。犬とか猫とか。辻希美とか。沢尻エリカとか。中沢なつきとか。こういうの写真集って言えんのかな。違うよな。沢尻エリカ写真集で女子ウケ、ぜってーしねえよな。あ、これ。これ、いいんじゃない？ ジョン・セクストンの『Quiet Light』。しぶいじゃん。白黒だし。なんか白黒って頭よさそうっていうか。いいじゃんいいじゃん。これにしよう。コピーして、ペーストして。

あと何だ。やっぱあれ？ 哲学とかかな。哲学いっとく？ っつーか、やりすぎか。じゃ、何だ？ あ。辞書とかいいかもな。辞書読んでるってかっこよくねー？ あれいこう。新明解。例文おもしろーやつ。タモリのジャポニカかなんかでやってたの超面白かったもんな。『新明解国語辞典』と。お。4冊行った。あとひとつ。あっとひとつ！ あっとひとつ！ 何だ。そうだ。児童書とか入れとくと女子ウケ良さそうだよな。なんだろう。んなこと言ったって、知らねえし。あ。あれだ。映画になってたやつ。『チャーリーとチョコレート工場』。よし5つ。いいじゃんいいじゃん。

次は何だ？ 「■最後に読んだ本」？ じゃあ『チャーリーとチョコレート工場』でいこう。

よし次！ 「■よく読む、また思い入れのある5冊」？ 何だよそれ。本なんかいっぺん読んだらいいじゃんかよ。思い入れのあるって何だよ。思い入れ。グラビア系とかなしだよな。ったりめえじゃん！ グラビア入れてどうすんだよ。知的イメージ台無しじゃん。えー？ 何だよ思い入れって。そうだ。こういうのはあれもアリだよな。子どものころに読んだのもアリだよな。じゃああれだ。『ズッコケ三人組』。いや待てよ。知的ポイント的にはどうよ。まずくね？ ギリギリか？ あーやめやめ。じゃあ何だよ。うわうぜえなこれ。5つも出ねーって。

あっ。辞書で攻めるか。あ、それいいじゃん。辞書を読む男。ありあり。えっと、それじゃ『広辞苑』。えっと。えっと。うわ！ 辞書なんて他に知らねえよ。何かあるのかな。そうだ。コミュニティ検索してみよ。うわすげえな。404件。何だ？ ん？ 電子辞書？ 顔文字の辞書？ だめだ。関係ねーのばっか。そうか。「本・マンガ」で絞ればいいんだ。17件。あ。これだこれだ。「百科全書派」。「辞書は一個の書物」とか書いてあるし。かっけー！ 220人。いるんだなあ物好きが。すげえな。好きな辞書を挙げてみてとかトピたってるし。こいつらマジかよ。あ。いただきいただき。

えーっと。何だって？ 『マイペディア』『日本語大辞典』『情報の歴史』『江戸文学地名辞典』。いいじゃんいいじゃん、これ使えるじゃん。コッピッペッ！ コッピッペッ！ うほ。

おれ、何者？ 知性の塊て感じ？ いいんじゃない？ いい感じなんじゃない？

よし次行こう。「■最後に買った本」。じゃあ『江戸文学地名辞典』コピペ。

そんでそんで。「■これから読もうと思っている5冊」。そりゃもう辞書でしょう。辞書を読む男だもん。頼むよ「百科全書派」。あれ？ あれえ。ここ意外と書き込み少なえじゃん。何だよ。頼むよ。さっきみたいな調子でさ。がんばってくれよ。あ、このトピがいいや。えっと『岩波・思想哲学事典』『ユング心理学事典』。なんか無理あつか。あ。英和辞典とかもアリだよな。『リーダーズ英和辞典 第2版』。おっと、これ面白そう。『絵でみるシンボル辞典』。「絵でみる」ってのがいいね。あとは.....っつーか、おかしくね？ 辞書しかないのって。うそっばいよな。じゃあ何だ。最後、知性っぽく締めるのは。っつーか、ぶっちゃけ「女子ウケ最高」って路線でいいんだよな。なんか可愛いのも。写真集で、動物ものとか。これにしよう。『ブルーデイブック』。よし、キマリ！

あとは「■バトンを渡す5人」か。じゃあkikkoとMr.fireと土男とkanekoとmiss\_water。これでよし。でもこれ読んでないのばれるとかっこわりーよな。『絵でみるシンボル辞典』くらい手に入れよっかな。

(「ブックバトン」 ordered by sachiko-san/text by TAKASHINA, Tsunehiro a.k.a.hiro)

## 感謝の言葉と、お願い&お誘い

---

Sudden Fiction Project（以下SFP）作品を読んでいただきありがとうございます。お楽しみいただけましたでしょうか？ もしも気に入っていただけたらぜひ「コメントする」のボタンをクリックして、コメントをお寄せください。ブックログへの登録（無料）が必要になりますが、この機会にぜひ。

「気に入ったけどコメントを書くのは面倒だ」と言うそのあなた。それでは、ぜひ「ツイートする（Twitter）」「いいね！（Facebook）」あたりをご利用ください。あるいは、mixi、はてな等の外部連携で「気に入ったよ！」とアピールしていただけると大変ありがたいです。盛り上がります。

※星5つで、お気に入り度を示すこともできるのですが、面と向かって星をつけるのはひよっとしたら難しいかも知れませんね。すごく気に入ったら星5つつける、くらいの感じでご利用いただければ幸いです。

現在、連日作品を発表中です。2011年7月1日から2012年6月30日までの366日（2012年はうるう年）に対して、毎日「1日1篇のSFP作品がある」という状態をめざし、全作品を無料で大公開しています。→[公開中の作品一覧](#)

SFP作品は、元作品のクレジットをきちんと表記していただければ、転載や朗読などの上演、劇団の稽古場でのテキスト、舞台化や映像化などにも自由にご活用いただけます。詳しくは「[Sudden Fiction Project Guide](#)」というガイドブックにまとめておきました。使用時には、コメント欄で結構ですので一声おかけくださいね。

ちょっと楽屋話をすると、7月1日にこのプロジェクトを開始して以来、日を追うごとにつくづく思い知らされているのですが、これ、かなり大変なんです（笑）。毎日1篇、作品に手を入れてアップして、告知して、[Facebookページ](#)などに整理して……って、始める前に予想していたよりも遥かに手間がかかるんですね。みなさんからのコメント、ツイート（RT）、「いいね！」を励みにがんばっていますので、ぜひご協力お願いいたします。

読んでくださる方が増えるというのもとても嬉しい元気の素なので、気に入った作品を人に紹介して広めていただけるのも大歓迎です。上記Facebookページも、徐々に充実させてまいりますので、興味のある方はリンク先を訪れて、ページそのものに対して「いいね！」ボタンを押してご参加ください。

10月からは「1日1篇新作発表」の荒行（笑）を開始し、55作品ばかり書き上げる予定です。「[急募！お題 この秋Sudden Fiction Project開催します](#)」のコメント欄を使って、読者のみなさんからのお題を募集中です。自分の出したお題でおはなしがひとつ生まれるのって、ぼくも体験

済みですが、かなり楽しいですよ！ はじめての方も、どうぞ気軽に遠慮なくご注文ください（お題は頂戴しても、お代は頂戴しないシステムでやっています。ご安心を）。

こんな調子で、2012年6月30日まで怒濤で突き進みます。他にはあんまりない、オンラインならではの風変わりな私設イベントです。ぜひ一緒に盛り上げてまいりましょう。

## セルフ・プロデュース

<http://p.booklog.jp/book/34010>

著者 : hirotakashina

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/hirotakashina/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/34010>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/34010>

公開中のSudden Fiction Project作品一覧

<http://p.booklog.jp/users/hirotakashina>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社paperboy&co.